

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和4年3月末現在
男 15,642人
女 15,654人
総人口 31,296人
世帯数 13,240世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)
町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<https://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.117 ハリエンジュ
(マメ目 マメ科)

学名 *Robinia pseudoacacia* L.

写真・文 安 昌美

▼ ハリエンジュとは

ハリエンジュはニセアカシアとも呼ばれ、ときにアカシアと誤って呼ばれることもあります。名前にあるハリは、葉の基部にある托葉たぐよが変化した、針状のとげに由来しています。北米東部原産の落葉高木で、現在はヨーロッパ、アフリカ、アジア、オーストラリア、南アメリカと世界中に広がっています。日本への渡来は明治8年頃(明治6年説もあり)とされています。

ハリエンジュはマメ科の樹木ですが、マメ科植物の根には根粒こんりゅうと呼ばれる微生物が共生しています。この細菌は、空气中に多く含まれる窒素を取り込むことで、植物が成長するための栄養を作り出す特性を持っています。いわば窒素肥料を自身の根か

ら調達できるのです。そのため、非常に栄養分の少ないやせた土地でもよく成長できます。

花期は初夏で、近寄ると甘い香りがします。養蜂や、薪や炭などに用いる樹種として有用性があり、特に戦後は救国樹種と呼ばれ、国土復興のための緑化に利用されました。山腹の崩壊地や斜面、溪流沿い、河原の緑化に役立ち、特に海岸部では防砂林用に植樹されてきた歴史があり、茨城町でも各地に見ることができ

▼ 大切な蜜源植物

虫媒花ですが、特定の花粉媒介者が必要とせず、主にミツバチによって受粉されます。

また、蜂蜜は、他の種類の蜜の混じらない単花蜜(アカシア蜂蜜)と

して知られ、品質も高級です。養蜂家にとってハリエンジュは最重要蜜源植物です。

ハリエンジュの林近くにミツバチの巣箱が置かれているのを見たことはありませんか。ハリエンジュに代わる蜜源植物はないとも言われているのです。

▼ 生態系被害防止外来種

救国樹種とまで呼ばれていたハリエンジュですが、現在は植樹された場所以外にも広がり、問題になっています。繁殖力が強く、純林をつくと、林内に生育できる植物の種類も減少していきます。また河川付近では、倒木が洪水時に流木となり、被害を大きくする懸念もあります。

そのため、適切な管理が必要とされる、産業上重要な外来種(産業管理外来種)に指定されています。